

OCVBが沖縄リゾートウエディング説明会

2020年までに2万組の挙式を目指す

沖 縄県と沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)はこのほど都内で、旅行会社を対象にした「沖縄リゾートウエディング説明会」を開催した。説明会では、OCVBの安里繁信会長の挨拶に続き、OCVB国内事業部国内プロモーション課の波上こずみ主任がマーケットの概況について、沖縄リゾートウエディング協会の池間慎吾会長が沖縄リゾートウエディングの特徴と魅力について解説した。説明会には関連事業者も多数参加しており、ワークショップ形式で旅行会社関係者へ情報発信が行われた。池間会長は、「2020年には2万組の挙式、45万人の参列者が目標。沖縄は気軽に行ける最高のウエディングのデスティネーション」と強調した。



説明会に参加した沖縄リゾートウエディング関連事業者たち

シカゴ観光局が日本での活動を本格化

女性、熟年層を中心に渡航需要喚起へ

シ カゴ観光局のドン・ウェルシュ社長兼CEO(写真中央)がこのほど来日した。「シカゴは全米屈指のグルメをはじめ、美術館・博物館巡り、ブルースやジャズ、ショッピング、ミシガン湖畔でのアウトドアアクティビティなど観光素材が豊富。街は基盤の目のように道路が整備されており、建築やアートを楽しみながら街歩きできるのが特徴。若い女性層や熟年層を中心に需要を喚起したい」と語り、観光デスティネーションとしての認知拡大とともに、旅行会社への商品造成を働きかける。同局では、11年の英国を皮切りに海外主要マーケットで事務所を開設。観光誘致の強化を図り、2020年に年間5000万人の旅行者を誘致することを目標に掲げている。



昨年8月にオフィスを開設した日本への期待を示した

ゴールドコーストセミナーを実施

現地からミッション来日

ゴールドコースト観光局とクイーンズランド州政府観光局はこのほど東京、大阪、名古屋の3都市でゴールドコースト・ミッション2013セミナーを実施、ゴールドコースト観光局のゴードン・プライス・ディレクター・ジャパンを筆頭に、サプライヤー6社が来日した。セミナーでは各社の最新情報の説明や、情報交換の場として懇親のランチも行われた。またクイーンズランド州政府観光局の柴田正三日本地区マーケティング部長から、7月6・7日に行われるゴールドコーストマラソン2013の開催概要の紹介があった。フルマラソンにはランナーの谷川真理氏が参加し、サイン会も行われる。また、大会後には、日本人参加者を対象に、打ち上げパーティーが開催される。



プライスディレクターと来日したサプライヤーの各氏

JNTOがインバウンド旅行振興フォーラム

各国・地域の旅行市場動向を紹介

日 本政府観光局(JNTO)は先ごろ、賛助団体・会員(地方自治体、観光関係企業等)を主な対象としたインバウンド旅行振興フォーラムを開催した。JNTO海外事務所長等が、各国・地域の旅行市場動向、注目マーケット、ビジット・ジャパン事業の取り組みを報告した。今回は、政治的な理由により送客数が伸び悩んでいる中国に代わる有望市場として注目を集めている東南アジア、特に巨大なイスラム教徒の人口を抱えるインドネシア、マレーシア等の市場の動向に参加者の関心が集まった。春節の旅行商品販売動向は、香港は回復しているが、中国本土は団体旅行が全体的に不振、個人旅行者は都市によっては堅調な動きだが、予断を許さないとも報告された。



満席の盛況となった同フォーラムは今回で10回目

ジンエアー、3期連続で黒字を達成

保有機材数を拡大、那覇線も開設

ジンエアー(LJ)は、2012年度決算で純利益が前年度より200%以上も増加、韓国のLCCの中で最高の実績を果たした。同社は2010年度から2012年度決算まで3期連続で黒字を計上した。今回の決算は、2012年度当初に設定した経営の目標を大幅に上回る数値。航空機の追加導入による路線拡大と運航便数の増加などによる量的な成長と、搭乗率の上昇がこの業績を支えている。同社は昨年、B737-800を2機追加して航空機の保有数が計9機となった。これにより国際線は4路線を拡充、搭乗率も国内線88%、国際線は80%となり、前年度の記録を上回った。また同社は昨年12月にソウル/那覇線を開設、デイリーで運航している。



3期連続で黒字を達成したジンエアー。路線もますます拡充

ゴールドコーストにマスコットキャラ登場

フォトコンテストの実施も

ゴールドコースト観光局は4月からコアラをモチーフにしたキャラクター「ビリー」を投入、「ビリーのゴールドコースト」をキャッチフレーズとしてさまざまな露出を行っていく。まずは4月1日~9月30日の期間、ゴールドコースト空港国際線到着ターミナルにおいて、ジェットスター航空(JQ)日本路線(成田・関空発)の到着日に登場。また、同空港およびカランピン野生動物保護園、ドリームワールド、パラダイスカントリー、ローンバインコアラ保護園において、どこかに隠れているビリーのマークやイラスト類を見つけて写真撮影し、フェイスブックにアップロードするフォトコンテストの実施も計画。応募方法と詳細は今後、同協会のフェイスブックで発表される。



コアラをモチーフにした新キャラクターのビリー君